

(参考) 諸外国の人口センサスの匿名データにおける秘匿処理

アメリカ：Bureau of Census

匿名データの名称：Public Use Microdata Sample (PUMS)

適用している秘匿処理

- ・ 直接的な識別因子の削除
- ・ データスワッピング
- ・ トップコーディング
- ・ 変数の詳細分類の統合
- ・ 年齢の攪乱
- ・ 地理的人口の制限 (10 万人以上)
- ・ ラウンディング
- ・ 変数の削除
- ・ ノイズ導入

資料：「Microdata Disclosure Protection Research and Experiences at the US Census Bureau
(presented at the Workshop on Microdata, Stockholm Sweden August 21, 22, 2003)」

「Public Use Microdata Sample Technical Documentation, 2000 Census of Population and Housing (2005 年, Census Bureau)」
他、米国センサス局 HP

イギリス：Office for National Statistics

匿名データ：The Samples of Anonymised Record (SAR)

適用している秘匿処理

- ・ 分類の統合
- ・ 地域人口の制限 (12 万人以上)
- ・ 変数の攪乱
- ・ トップコーディング
- ・ 特異レコード削除

資料：「User guide to the SARs(2005 年, CCSR)」他、英国国家統計局 HP

ドイツ：Federal Statistical Office

匿名データ：Public Use File (PUF), Scientific Use File (SUF)

(学生用の Campus File もある)

適用している秘匿処理

- ・ 70 ~ 85% リサンプリング
- ・ 地域人口の制限 (州で 40 万人以上)
地域分析用ファイル：5 万人以上

適用している可能性のある処理

- ・ ノイズ導入
- ・ 変数の削除
- ・ 古い年次のデータを混入
- ・ 架空データ作成
- ・ トップ (ボトム) コーディング

資料：「諸外国における統計の制度と運営 (その 24) (平成 14 年, 総務省統計局統計基準部国際統計課)」